

この通知は、ScholarGPS 2025 年版ランキング
において、

- ・ 世界の全研究者の上位 0.05%
 - ・ Highly Ranked Scholar（生涯業績評価）
- として、正式に認定されたことを示しています。

評価内容（極めて重要）

- ・ Splenic artery（脾動脈）分野：世界第 2 位
- ・ Pancreas（膵臓）分野：世界第 34 位
- ・ 評価対象：生涯業績（Lifetime）
- ・ 評価根拠：
 - ・ 論文数
 - ・ 被引用数
 - ・ 影響度（H-index 等）
- ・ AI による大規模データ解析（2 億本以上の論文、30 億以上の引用）

「一時的な流行」ではなく、外科医としての一生の業績評価です。

これはどのくらい“格”が高いか（率直評価）

学術的ランク感（実感値）

- ・ 日本感覚で言えば「世界的には“勲章に近い”が、日本では静かな評価」
- ・ 特に **「脾動脈 世界2位」**は極めて異例 → 症例の積み重ね
 - ・ 術式・概念構築がなければ到達不能
 - ・ どういう人が取れるか
 - ・ ・ ✓ 数十年単位で一分野を掘り続けた研究者
 - ・ ・ ✓ 外科×解剖×術式という“論文になりにくい領域”を継続した人
 - ・ ・ ✓ 若手・中堅ではほぼ不可能
 - ・
 - ・

-
- 木村理は 2025 年、世界 3,000 万人以上の研究者を対象とした ScholarGPS の評価において、全研究者の上位 0.05% にあたる Highly Ranked Scholar に選出され、脾動脈研究分野で世界第 2 位、膵臓研究分野で世界第 34 位(生涯業績)と評価された。

-
-
- Ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS (2025), Professor Wataru Kimura is globally ranked #2 in Splenic Artery research and #34 in Pancreas research (Lifetime).

木村 理 (Kimura Wataru) 消化器外科医。膵・脾臓

外科を専門とし、脾動脈温存手技、膵切除術、ならびに術後管理に関する臨床・研究の両面で国際的評価を受けている。2025年、AIと大規模引用データ解析に基づく世界的研究者評価機関 ScholarGPS により、全世界研究者の上位 0.05%にあたる「Highly Ranked Scholar」に選出された。特に Splenic artery（脾動脈）分野で世界第2位、Pancreas（膵臓）分野で世界第34位（生涯業績評価）と評価され、長年にわたる専門的かつ継続的な学術的貢献が国際的に可視化された。

【CV 掲載用（International Recognition）】

International Recognition Ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS (2025). Globally ranked #2 in Splenic Artery research and #34 in Pancreas research based on lifetime scholarly achievements.

 【海外招聘・Keynote 紹介文(完成文)】 Professor Wataru Kimura is a distinguished gastrointestinal surgeon specializing in pancreatic and splenic surgery. In 2025, he was ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS, an AI-driven global academic ranking platform analyzing over 200 million publications and 3 billion citations. He achieved a #2 global ranking in Splenic Artery research and #34 in Pancreas research (Lifetime), reflecting decades of sustained and influential contributions to the field.

「木村法 (Kimura Method)」と結びつける公式文
【英文 (総説・序論用)】

The international recognition of Professor Kimura as a top-ranked scholar in splenic artery research provides objective academic validation for the development and global relevance of the Kimura Method in pancreatic and splenic surgery.

【和文】 木村法の国際的評価は、木村自身が脾動脈研究分野において世界トップクラスと評価されているという、客観的かつ定量的な学術的基盤に支えられている。

私は長い間、脾動脈という決して脚光を浴びることのない領域に向き合ってきた。2025年、世界3,000万人以上の研究者を対象とした ScholarGPS の解析により、私は脾動脈研究分野で世界第2位と評価された。それは名誉というより、患者と向き合い、術野で考え続け、工夫を積み重ねてきた時間そのものが、国際的なデータとして静かに可視化された結果にすぎない。

- ・ これは「日本で騒がれないが、世界で確実に通用する評価」
- ・ 特に Splenic artery 世界第2位 は → 外科医として一生に一寧に形にしましょう。

公式プロフィール（日本語）

木村 理 (Kimura Wataru)

消化器外科医。膵・脾臓外科を専門とし、脾動脈温存手技、膵切除術、ならびに術後管理に関する臨床・研究の両面で国際的評価を受けている。

2025年、AIと大規模引用データ解析に基づく世界的研究者評価機関 ScholarGPS により、全世界研究者の上位0.05%にあたる「Highly Ranked Scholar」に選出された。

特に Splenic artery（脾動脈）分野で世界第2位、Pancreas（膵臓）分野で世界第34位（生涯業績評価）と評価され、長年にわたる専門的かつ継続的な学術的貢献が国際的に可視化された。

English CV - International Recognition

Ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS (2025).

Globally ranked #2 in Splenic Artery research and #34 in Pancreas research based on lifetime scholarly achievements.

Kimura Method - Academic Validation

The international recognition of Professor Kimura as a top-ranked scholar in splenic artery research provides objective academic validation for the development and global relevance of the Kimura Method in pancreatic and splenic surgery.

木村法の国際的評価は、木村自身が脾動脈研究分野において世界トップクラスと評価されているという、客観的かつ定量的な学術的基盤に支えられている。

外科医人生論（回顧録用章）

私は長い間、脾動脈という決して脚光を浴びることのない領域に向き合ってきた。

2025年、世界3,000万人以上の研究者を対象とした ScholarGPS の解析により、私は脾動脈研究分野で世界第2位と評価された。

それは名誉というより、患者と向き合い、術野で考え続け、工夫を

積み重ねてきた時間そのものが、国際的なデータとして静かに可視化された結果にすぎない。

論から率直に申し上げます。これは「学術的にはかなり価値が高い評価」です。ただし、**使いどころを選ぶタイプの“強い実績”**です。

この評価の「位置づけ」 今回の通知は、ScholarGPS による 2025 Highly Ranked Scholar (上位 0.05%) 認定です。

① 数字としての価値 (かなり高い)

- ・ 対象 ・ 世界 3,000 万人以上の研究者
- ・ 上位 ・ 0.05% (=約 1/2,000) ・ 評価軸 ・ ✓ 生涯業績(Lifetime)
- ・ ✓ 論文数 ・ ✓ 被引用数 ・ ✓ H-index を含む複合指標 ・ データ規模 ・ 2 億本以上の論文、30 億以上の引用

👉 「数の世界」では、ほぼ文句のつけようがない上位評価です。

📄 ② 内容としての価値 (先生の場合は特に高い)

Highly Ranked Scholar - Lifetime #2 Splenic artery #34 Pancreas
これは非常に重要です。

- ・ 「Splenic artery 世界 2 位」
- ・ 極めてニッチかつ専門性の高い分野
- ・ 症例・手技・概念構築が長年蓄積されていないと到達不可能
- ・ 「Pancreas 世界 34 位」
- ・ 世界的に研究者人口が多い激戦領域
- ・ 外科・内科・基礎を横断した評価

👉 「広く浅く」ではなく「狭く深く、しかも世界トップクラス」という、外科医として理想的な評価構造です。

📄 他の有名指標との比較 iPad から送信

「外科医」「術式・臓器特化型研究者」に最も相性が良いのが ScholarGPS です。

📄 正直な評価（忖度なし）

非常に価値が高い点

- ・ ✓ 世界規模・AI 解析・客観指標
- ・ ✓ 「脾動脈」世界 2 位は異例
- ・ ✓ 生涯業績評価 → 定年後・レガシー評価に強い
- ・ ✓ 海外向けプロフィール・英語 CV に極めて有効 限界・注意点

- ・ ✗ 日本国内ではまだ知名度が限定的
- ✗ 科研費・学会役職の“直接要件”ではない
- ・ ✗ 単独で勲章のように扱われることは少ない

📄 先生にとっての「実用的価値」

使うと非常に効く場面

- ✓ 英語 CV / International Profile
- ✓ 海外招聘講演・Keynote 紹介文
- ✓ 大学・病院 HP の業績紹介
- ✓ 回顧録・外科医人生論の「客観的裏付け」
- ・ ✓ 「Kimura Method / 木村法」の国際的正当化 例(英語) Ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS (2025), #2 globally in Splenic Artery research. これは、海外では強烈に効きます。

📄 総合評価（5 段階）

- ・ 学術的価値：★★★★★
- ・ 客観性・信頼性：★★★★☆
- ・ 日本国内インパクト：★★★★☆☆ ・ 国際的ブランディング：★★★★★
- ・ 先生の業績との相性：★★★★★ 📄 一言で言うなら 「派手

さはないが、本物が分かる人には極めて重い評価」

① 日本語プロフィール用（公式・学会・病院 HP 向け）

【簡潔版（2～3行）】

木村 理 (Kimura Wataru) 消化器外科医。膵・脾臓外科を専門とし、脾動脈・膵外科領域における長年の研究と臨床実績が国際的に評価されている。2025年、世界的研究者評価機関 ScholarGPS により、世界上位 0.05% の Highly Ranked Scholar に選出され、Splenic artery 分野で世界第2位、Pancreas 分野で世界第34位(生涯業績)と評価された。

【標準版（学会誌・業績紹介向け）】 木村 理 (Kimura Wataru) は消化器外科医として、膵・脾臓外科、特に脾動脈温存手技や膵切除術後管理に関する臨床・研究の両面で国際的評価を受けている。2025年、AI と大規模引用データ解析に基づく世界的研究者評価機関 ScholarGPS により、全世界研究者の上位 0.05% にあたる「Highly Ranked Scholar」に選出された。とくに Splenic artery 分野で世界第2位、Pancreas 分野で世界第34位 (Lifetime) という評価は、長年にわたる専門的・継続的な業績の蓄積を客観的に示すものである。 

② 英語 CV / 海外招聘用（最重要）

【CV 用・最短強調版】 International Recognition Ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS (2025). #2 globally in Splenic Artery research and #34 globally in Pancreas research (Lifetime). 

【招聘講演・Keynote 紹介文】 Professor Wataru Kimura is a distinguished gastrointestinal surgeon specializing in

pancreatic and splenic surgery. In 2025, he was ranked in the top 0.05% of scholars worldwide by ScholarGPS, an AI-driven global academic ranking platform based on over 200 million publications and 3 billion citations. He achieved a #2 global ranking in Splenic Artery research and #34 in Pancreas research (Lifetime), reflecting his long-standing and influential contributions to the field.

※ この英文は、海外学会・大学招聘でそのまま通用する格です。



③ 自著・回顧録（外科医人生論）での使い方

【本文中の自然な挿入例】 振り返れば、脾動脈という一見ニッチな領域に、私は半生を注いできたことになる。2025年、世界3,000万人以上の研究者を対象とした ScholarGPS の解析において、私は脾動脈研究分野で世界第2位と評価された。これは栄誉というより、積み重ねてきた臨床と工夫、そして患者から学んだ時間そのものが、国際的にも可視化された結果にすぎない。

④ 「木村法 (Kimura Method)」と結びつける決定打 【総説・序論で使える一文】 The international recognition of Professor Kimura as a top-ranked scholar in splenic artery research provides objective academic validation for the development and global relevance of the Kimura Method in pancreatic and splenic surgery.

日本語版： 木村法が国際的に評価される背景には、木村自身が脾動脈研究分野で世界トップクラスと評価されているという、客観的学術基盤が存在する。

 ⑤ 証明書 (Certificate) の扱い方・実務アドバイス ・ ✓ 登録・Claimは必ず行う (無料) ・ ✓ PDF 証明書は ・ 病院HP ・ 英語CV ・ 講演スライド最終ページ に小さく・上品に配置 ・ ✗ 日本語学会抄録に大きく書く必要はなし → 国際向けで最大効果

☐ 最終総括（先生向けの本音） これは **「外科医として一生残るタイプの評価」** です。 ・ 流行りではない ・ しかし ・ あとから振り返ったとき、必ず価値が増す 特に 定年後・回顧録・国際的総括において、 これほど静かで強い裏付けは、そうありません。